

八幡市長

堀口 文昭様

2023年度

## 八幡市予算に対する緊急要望書

2023年2月

日本共産党八幡市議会議員団

団長 山本 邦夫



## 2023年度 八幡市予算への緊急要望事項

2023年2月 日本共産党八幡市議会議員団

### ＜はじめに＞

新型コロナ感染症の第8波で「医療崩壊」が深刻です。死者数は過去最悪、緊急搬送困難事案、福祉施設でのクラスターの多発などが深刻な形で繰り返されています。物価高騰によって暮らし、雇用、経営にも影響が出ています。八幡市が、市民の命と健康を守ることは最優先の課題です。今こそ、憲法を生かして市民のくらしを支援する市政運営が必要です。

今回の要望書は、緊急要望として提出させていただきます。

### ＜緊急要望事項＞

- ・山城北保健所の体制を強化し、感染症に対応できる機能を備えるよう京都府に求めること。
- ・新型コロナを「5類」に引き下げるに、医療・検査における自己負担が大きくなる。医療への公的責任を明確にし、市民の自己負担を軽減すること。防衛力強化資金の名目で、医療機関のための積立金コロナ対策の「未使用分」の流用をしないよう政府に働きかけること。
- ・地方創生臨時交付金を活用し、教職員、保育園・幼稚園・こども園職員、福祉施設職員などの定期的なPCR検査をおこなうこと。
- ・市民がPCR検査などを気軽に受けられるようにすること。
- ・福祉施設でのクラスター発生にたいし、十分な隔離、入院・治療体制を確保すること。
- ・コロナ禍で仕事を失ったり、収入が減ったり、生活に困窮する人への相談窓口を設置し、緊急支援を行うこと。収入が急変した世帯への生活保護や就学援助などを迅速に適用すること。
- ・4月からの水道料金値上げを中止または延期すること。来年度の上下水道の基本料金を減免すること。府営水道に対し、コロナ感染対策として緊急値下げを求めるこ。
- ・子どもの医療費は、入院・通院とも高校卒業まで無料化すること。
- ・ひとり親家庭、子ども、障害者、高齢者の医療費助成など福祉医療において、大阪府など京都府外での窓口給付を受けられるようにすること。
- ・国民健康保険料を値下げすること。
- ・国民健康保険料の「均等割」について、就学前だけでなく18歳まで均等割（1人3万

5000円)を半減すること。国に対し1兆円の公費投入を求め、国保の全世代の均等割、平等割の廃止をめざすこと。

- ・マイナンバーカードの所持を強要しないこと。医療機関に負担と混乱をもたらす健康保険証との一体化に反対すること。
- ・休日夜間の小児救急体制を整備するため、市内および周辺病院での医師・看護師の確保を支援するよう府に求めること。
- ・65歳以上の高齢者の医療費負担の軽減に努めること。
- ・後期高齢者医療の軽減制度を復活・拡充するよう、国に求めること。
- ・無料低額診療を実施する医療機関を市内に増やすこと。市ホームページで無料低額診療について情報提供すること。
- ・介護保険利用料の1割負担を堅持すること。
- ・介護保険利用料について低所得者の減額・免除措置を講じること。
- ・あんしんサポートハウスなど低所得者向け施設を増設すること。市内のサービス付き高齢者向け住宅(サ高住)の空き情報を把握し、市借り上げの低所得者向け住宅として活用を検討すること。
- ・介護保険における国の調整交付金は、国が介護保険の25%を負担し、高齢化率の高い地域などへの補助は加算する形に改善するよう求めること。
- ・生活保護の申請において、親族などの扶養照会をしないこと。
- ・生活保護における住宅扶助を大幅に改善するため、国に強く求めること。市として独自に住宅支援策を講じること。就労対策において過度な就労指導をしないこと。子どもの大学・専門学校進学に際し、教育費、住居費、生活費への扶助を充実すること。
- ・小学校、中学校で30人学級をめざすこと。
- ・国にたいし①大学学費の負担軽減、②学生の無利子奨学金制度や給付制奨学金の創設・拡充を求める。奨学金返済者の負担を軽減する利子補給制度の創設を求める。
- ・府に対し、小学校1・2年生の複数教員の配置の改善を求める(25人程度の学級に配置、2年生での配置時間を増やし、通年配置すること)。
- ・高校におけるタブレット導入について、府に生徒・家庭の負担軽減策を拡充するよう求めること。
- ・ひきつづき、公立高校・私立高校の授業料無償化・負担軽減を継続できるよう国・府に働きかけること。大阪府など他府県の私立高校も減免対象にするよう求めること。
- ・高校生への通学費補助を創設すること。高校生の通学補助の適用条件の緩和を府にもとめること。

- ・学校給食の無料化、負担軽減に取り組むこと。来年度については、物価高騰による給食費値上げを回避すること。
- ・保育園・こども園の給食費を無償化すること。自治体の無償化に対し、国が助成するよう求めること。
- ・国に対し、保育園、幼稚園などの職員配置基準を改善するよう求めること。市独自の基準の改善を急ぐこと。
- ・美濃山小学校から学童保育施設への移動において、信号などが整備されていない箇所については、安全対策を講じること。
- ・「地域医療福祉拠点」に位置づけられている男山団地において、今後のエレベーター設置を計画的にすすめること。
- ・公共交通対策予算を2倍に増やし、バスなど公共交通を充実すること。
- ・市内の公共バス交通網の充実に向けて、地域住民の声を聞き、地域公共交通会議で、八幡市地域公共交通計画を改善すること。
- ・京阪電鉄はホームドアなどバリアフリー投資を進めるため1区間10円の値上げを予定しているが、今後、石清水八幡宮駅、橋本駅の整備計画を明確にするよう求めること。橋本駅の無人化を取りやめるよう求めること。
- ・身近な買い物環境の整備のため、新たなスーパーなどの出店に尽力すること。地域を巡回販売する移動販売などに対し市として支援すること。
- ・音響式信号機、エスコートゾーンなど視覚障害の人に配慮した横断歩道の整備に努めること。
- ・流れ橋交流拠点・四季彩館について、赤字穴埋めのための際限ない市財政の投入を見直すこと。経営分析をして、巨額の赤字要因となる事業の見直し、縮小を図ること。
- ・老朽原発の稼働に反対し、直ちに廃炉作業に入るよう国に求めること。
- ・新庁舎の整備にともなう旧庁舎の解体において、当初計画よりも拡大する経費の抑制に努めること。市役所・文化センターの駐車場台数を大幅に増やすこと。
- ・市庁舎での視覚障害者が安心して利用できるよう点字ブロックを各所に配置すること。
- ・市庁舎内に環境自治体宣言と同様に非核平和都市宣言を掲示すること。平和首長会議に早期に加盟すること。

以上、よろしくお願ひします。